

平成23年度

事業計画書

自 平成23年4月 1日

至 平成24年3月31日



誓願

人よ醒めよ醒めて愛に帰れ  
愛なき人生は暗黒なり

共に祈りつつ

すべての人と親しめ

わが住む郷に

一人の争う者もなきまでに

人よ起てよ起ちて汗に帰れ

汗なき社会は墮落なり

共に祈りつつ

すべての人と働け

わが住む里に

一人の怠る者もなきまでに

# 平成23年度 事業計画大綱（案）

## 基本方針（案）

### 公益財団法人として新たなスタート

#### 伝えよう“愛と汗の心”、広めよう“幸せの種まき運動”

平成20年12月に“公益法人制度改革関連三法”が施行され、これに対応して本団では平成22年7月に公益財団法人の申請を行い、平成23年3月に公益財団法人の認可を受け、今年度より新たに公益財団法人修養団（略称SYD）としてスタートをすることとなりました。

新しく制定された『公益財団法人修養団・定款』において本団の目的は「この法人は、「愛と汗」の理念及び実践により、青少年の健全な育成を図るための教育その他社会教育を行うとともに、明るい社会を建設し、もって世界の福祉と平和に寄与することを目的とする。」と定めております。この定款に定められた目的を達成するよう努力していくことこそが私たちに課せられた使命です。

修養団は105年前の創立以来、種々な活動を展開して参りましたが、これらは全てこの使命を達成するための活動であったと自負しております。新制度において公益財団法人として認定された最初の年度となる平成23年度は基本方針を「公益財団法人として新たなスタート、伝えよう“愛と汗の心”、広めよう“幸せの種まき運動”」とし、これを機に今一度創立の原点に立ち返り、愛と汗の心の大切さを一人でも多くの人に伝えていくことと、創立90周年から展開をしている“幸せの種まき運動”がさらに多くの人々、家庭、学校・職場そして地域に広がるように全国の同志と手を携えて力を尽くしていきます。総親和、総努力そして総幸福の明るい世界の実現を目指して！

# I. 青少年活動

※子どもゆめ基金は申請予定です。

日本の未来を担い将来を築く青少年が、健康な身体を養い豊かな感性と高い徳性を磨き、有為な青年に成長することを目的に、基本理念である“愛と汗”の精神に基づいた、自然体験・社会奉仕体験を中心とした青少年育成活動の充実を図る。

## 1. 子ども自然体験活動

“愛と汗”の精神に基づいた子ども自然体験キャンプを全国的に開催し、大自然の中で障害児を含む異年齢の仲間とともに野営による共同生活やさまざまな自然体験活動をおこない、心のバリアフリー化や、自主性、協調性、感受性等を育て、次代を担う青少年の心豊かな人間形成を図る。

### (1) 夏期子ども自然体験キャンプ

ア. SYD主催「子ども自然体験キャンプ」《文部科学省後援/子どもゆめ基金助成事業》

期 日 7月下旬～8月 〈各3泊4日〉  
開 催 地 7会場（えさし・桧原湖畔・いばらき・富士山・関西・瀬戸内海・沖縄）  
スタッフ等 各会場スタッフ10名、リーダー20～25名  
対 象 小学1年生～中学3年生の児童生徒  
募集人員 各50名～70名

イ. 連合会・支部「子ども自然体験キャンプ」

期 日 7月下旬～8月 〈各3泊4日～4泊5日〉  
開 催 地 7会場（美幌・房総・岐阜・広島・山口・北部九州・鹿児島）  
スタッフ等 各会場スタッフ8～10名、リーダー20～30名  
対 象 小学1年生～中学3年生の児童生徒  
募集人員 各50名～120名

ウ. 企画委員会の開催《子どもゆめ基金助成事業》

開 催 数 1回  
会 場 SYD会議室  
企画委員 学識経験者とSYD青少年活動担当者10名

エ. 子ども自然体験キャンプ担当者会議《子どもゆめ基金助成事業》

期 日 6月～7月 〈1泊2日〉  
スタッフ等 SYD指導者等4～5名  
会 場 SYD会議室・国立オリンピック記念青少年総合センター等  
参 加 者 20名（キャンプ実施担当者）

オ. キャンプ事前調査《子どもゆめ基金助成事業》

期 日 6月～7月  
期 間 各3泊4日  
開 催 地 全国7会場  
派遣講師 各1名

カ. 印刷物の作成《子どもゆめ基金助成事業》

①子ども自然体験キャンプリーフレットの作成

部 数 10,000部  
体 裁 A2版、4色刷り

②子ども自然体験キャンプ報告書の作成

部 数 1,500部  
体 裁 A4版

**(2) 冬期子ども自然体験（スキー）キャンプ**

開催数 3回 〈12月、1月、3月〉  
会 場 ばんだいふれあいぴあ、裏磐梯スキー場  
スタッフ等 スキー指導員2名、SYD指導者4名（事務担当者含）  
対 象 小学1年生～中学3年生  
募集人員 キャンパー45名、リーダー15名

**(3) 夏期少年少女合宿講習会（青年会議所との共催事業）**

期 間 7月～8月 〈各2泊3日〉  
会 場 伊勢青少年研修センター  
開催数 2回  
対 象 小学生  
定 員 各100名  
予定団体 ①社団法人伊勢青年会議所 ②社団法人岸和田青年会議所

**(4) 40Km ナイトウォークの集い**

期 間 9月  
開催数 1回  
定 員 100名  
対 象 小学3年生以上の子ども・一般  
内 容 40Kmの夜間歩行

## 2. 子どもボランティア活動推進事業

### (1) 幸せの種まきキャンペーン《文部科学省後援/子どもゆめ基金助成事業》

地域、学校（生徒会・ボランティア部）、PTA等と連携を図り、これまで実践しているフィリピン等での支援活動を紹介し、ストリートチルドレンやスカベンジャーなど「貧困と共に生きる子どもたち」の現状を理解する機会を提供することにより、ボランティア精神を涵養し、“私にもできるボランティア”等のワークショップや実践活動を推進する。このことにより、他者への思いやり、命の大切さ、親への感謝など、“青少年の豊かな心”を育むことを目的として全国的に開催する。

#### ア. 幸せの種まきキャンペーン「出前講座・課外授業」の実施

|      |  |
|------|--|
| 期 日  | 通年   |
| 開催数  | 全国60～80会場  |
| 実施組織 | 学校（生徒会、ボランティア部・JRC等のクラブ、学童保育等）、市町村教育委員会・公民館、PTA・子ども会など各種団体・グループ、連合会・支部 |
| 派遣講師 | 各2～3名 ※フィリピンでのボランティア経験者(学生含)   |
| 実施概要 | (1)参加者 15名以上<br>(2)プログラム 90分(標準) 他                                     |

#### イ. パンフレットの作成・配布

|     |             |
|-----|-------------|
| 部 数 | 10,000部     |
| 体 裁 | A4版、8頁、4色刷り |
| 配布先 | 10,000カ所    |

### (2) 子ども週末体験活動の推進《子どもゆめ基金助成事業》

各種体験活動においてリーダーとして活動している、あるいは今後リーダーを目指す中学生以上の青少年が、SYDの理念を学ぶとともにさまざまな体験活動やその展開方法について学習し、地域にふさわしい週末体験活動を実践するための協議会を開催し、子どもたちの豊かな人間性を育むこと等を目的とした各種週末体験活動を実践する。

#### ア. 子どもボランティア週末体験活動推進協議会

|      |                               |
|------|-------------------------------|
| 開催数  | 全国6～8会場                       |
| 期 間  | 5月～平成24年3月〈各1日～2泊3日〉          |
| 対 象  | 将来SYD指導者を目指す中学生及びキャンプリーダー等の青年 |
| 募集人員 | 各15名～25名                      |

#### イ. 子どもボランティア週末体験実践活動

|      |                      |
|------|----------------------|
| 開催数  | 全国6～8会場              |
| 期 間  | 5月～平成24年3月〈各1日～1泊2日〉 |
| 対 象  | 小学1年生～中学3年生、リーダー     |
| 募集人員 | 各30名～50名             |

### 3. SYD指導者の養成

各種体験活動においてリーダーとして活動している、あるいは将来リーダーを目指す中学生・高校生・大学生等の青少年が一堂に会し、自然体験や社会奉仕体験などのさまざまな実践活動を実践し、自ら活動の楽しみや喜びを体得するとともに、子どもたちを安全に導きながら体験活動を積極的に推進するための知識や技能を修得し、年間をとおして体験活動を展開するSYD指導者の養成に努める。

#### (1) 自然体験活動リーダー養成

ア. 全国自然体験リーダー養成キャンプ《文部科学省後援/子どもゆめ基金助成事業》

カヌーやサイクリング、沢登り、ハイキング、水や野鳥などの自然観察等の自然体験活動を実践するとともに、救急法や野外レクなど自然体験活動を積極的に推進するための知識や技能を修得し、自然体験活動においてのリーダーを養成する。

期 日 7月25日(月)～29日(金) 〈4泊5日〉  
会 場 ばんだいふれあいぴあ  
スタッフ等 SYD指導者等5～6名  
対 象 将来SYD指導者を目指す中学生及びキャンプリーダー等の青年  
募集人員 20名～25名

イ. 自然体験活動リーダー研修会《子どもゆめ基金助成事業》

開 催 数 全国6～8会場  
期 間 5月～8月 〈各1泊2日〉  
スタッフ等 SYD指導者等2名  
対 象 将来SYD指導者を目指す中学生及びキャンプリーダー等の青年  
募集人員 各15名～20名

#### (2) 社会奉仕体験活動リーダー養成

ア. 青年ボランティア・アクション in 福島《文部科学省後援/子どもゆめ基金助成事業》

ボランティア活動の心構えや福祉ボランティアの基本的技術を習得し、福祉施設や公共施設等での社会奉仕体験活動を実践し、社会奉仕活動の楽しみや喜びを体得することによりボランティア精神を涵養し、指導者として資質の向上を図る。

期 日 4月1日(金)～4月6日(水) 〈5泊6日〉  
開 催 地 福島県  
スタッフ等 SYD指導者等5名  
対 象 将来SYD指導者を目指す中学生及びキャンプリーダー等の青年  
募集人員 25名～30名

イ. 全国青年ボランティア・フェスティバル《文部科学省後援/子どもゆめ基金助成事業》

期 日 10月8日(土)～10日(月・祝) 〈2泊3日〉  
会 場 国立中央青少年交流の家  
スタッフ等 SYD指導者等5名  
対 象 将来SYD指導者を目指す中学生及びキャンプリーダー等の青年  
募集人員 50名

ウ. 報告書の作成 《子どもゆめ基金助成事業》

部 数 1,000部

体 裁 A4版、56頁

### (3) SYD指導者資格認定制度

自然体験活動や社会奉仕体験活動等を日常的に展開する指導者の養成を目指し、指導者資格証を発行するなど、SYD指導者資格認定制度の運用と充実を図る。

## 4. 青年組織育成

“愛と汗”の精神に基づいた、自然体験・社会奉仕体験を中心とした青少年育成活動の充実を図り、本部と各地の青年組織間との連携を密にし、情報交換を行い、青年活動の活性化と連携を図るための協議を行う。また、SYDの理念を学ぶと共にさまざまな体験活動やその展開方法について学習し、年間を通して体験活動を展開する組織の育成、充実に努める。

### (1) SYDキャンプアカデミー開設に向けての研究協議会《子どもゆめ基金助成事業》

全国でキャンプ等の青少年活動を実践している指導者の代表が一堂に会し、これからの自然体験等をはじめとするSYD活動の運営方法や指導者のあり方を協議するなど、近未来の指導者を養成するための「SYDキャンプアカデミー」開設に向けての研究協議会を行う。

開催数 年4回 〈1泊2日～2泊3日〉

会場 SYD会議室・国立または県立青少年自然の家・青少年交流の家等の公共施設、  
ばんだいふれあいびあ等

参加者 15名（青年部組織の代表者）

### (2) 青年ボランティアゼミナール《子どもゆめ基金助成事業》

開催数 年7回

講師 各1名（海外ボランティア経験者等に委嘱）

会場 SYD会議室

対象 東京近郊の青年リーダー

募集人員 各20名

### (3) 指導者の派遣と青年組織活動への助成

青年部組織の強化・拡大と活動の充実・活性化を図るため、指導者の派遣と組織活動への助成を行う。

ア. 指導者の派遣

派遣回数 10～15回

派遣期間 2泊3日～4泊5日

イ. 青年組織活動への助成

## 5. 関係機関・団体との協力

青少年教育及び社会教育の関係機関及び諸団体との連携を図り、青少年の健全育成ならびに社会教育に寄与する活動を展開する。

## II. 国際交流

### 1. 青年ボランティア・アクション in フィリピン

フィリピン・ケソン市パヤタスのゴミ捨て場で働く子どもたち（スカベンジャー）やマニラ市のストリートチルドレン（路上で生活する子どもたち）を訪問し、ボランティア活動・交流活動・支援活動の実践をとおして友好と相互理解を促進する。以上のことにより、日本の青少年の国際的視野を広げ、国際協力の精神を涵養し、国際協力における実践力を培い、学校や地域で活動する青少年指導者を育成する。

期 日 8月23日(火)～29日(月) 〈6泊7日間〉

訪 問 地 マニラ市、ケソン市 等

スタッフ 2名

参 加 者 25名（ボランティア活動に強い関心があり、ボランティア活動指導者を目指す中学生及び高校生以上の青年、満15歳以上から35歳位まで）

主な日程 マニラ市内のストリートチルドレンやパヤタスのスカベンジャー（ゴミ捨て場で働く子どもたち）とのふれあい活動やボランティア活動等

### 2. ブラジルとの指導者交流事業

#### (1) ブラジルへの指導者派遣

ブラジル修養団の要請に応じて指導者を派遣し、日伯文化協会等と連携しながら開催される少年少女講習会や教育講演会及びブラジル修養団青年指導者研修会等に従事する。

期 日 平成24年1月～2月 〈35日間〉

派 遣 者 SYD講師1名

#### (2) ブラジル青少年指導者の招聘

ブラジル修養団の推薦する指導者及び青年リーダーを招聘し、伊勢講習会や子ども自然体験キャンプなどに参加・研修させることにより、ブラジルで開催される少年少女講習会等で活躍する青少年指導者の養成を図る。

期 日 7月中旬～8月中旬 〈26日間〉

招 聘 者 青年リーダー 1～2名

### 3. 関係機関・団体主催事業への派遣・受入協力

内閣府、国立青少年教育振興機構、(社)中央青少年団体連絡協議会等が実施する青少年や指導者を対象とした国際交流派遣事業に積極的に参加者の推薦を行うとともに、国内における各種国際交流活動への指導者・青少年の参加を促進する。

### Ⅲ. 講習会・講演活動

企業・団体等の社員、または個人を対象に「良き企業人である前に、良き社会人であれ」をモットーに、「愛と汗」の精神を基本にした健全な価値観を形成し、より良い人格を研くことを目的に開催する。また、受託講習会・セミナーや講演会に講師を派遣し、“愛と汗”の精神の普及に努める。

#### 1. 伊勢講習会

##### (1) みがく講習会 〈3泊4日〉

期 間 4月～平成24年3月  
開 催 数 9回  
定 員 各70名

##### (2) みがく特別講習会 〈1泊2日〉

期 間 平成24年1月～2月  
開 催 数 5回  
定 員 各100名

##### (3) 特別講習会

###### ア. 神嘗祭特別講習会

①期 日 10月15日～17日〈2泊3日〉…初穂曳き・神嘗祭コース  
②期 日 10月16日～17日〈1泊2日〉…神嘗祭コース  
開 催 数 1回  
定 員 150名（①＋②）

###### イ. 初詣新春の集い

期 日 平成24年1月  
開 催 数 1回  
定 員 100名

##### (4) 受託講習会

| No. | コース     | 期日         | 回数 | 定員           | 参加予定企業  |
|-----|---------|------------|----|--------------|---|
| 1   | 3泊4日コース | 2月         | 1回 | 100名         | 東芝テクニカルスクール   |
| 2   | 2泊3日コース | 3月         | 2回 | 各40名         | ゼルネットワーク西日本、<br>高津ライフケア専門学校                                 |
| 3   | 1泊2日コース | 4月～<br>12月 | 6回 | 20名～<br>100名 | 伊勢志摩リハビリテーション専門学校、<br>志ネットワーク青年塾、伊勢の風を感じる会、<br>春風塾、神話を体感する会 |

## 2. 関東・東北地区講習会

「愛と汗の人づくり」をテーマとしたプログラムをより積極的に企業に広め、よき社会人の育成に努める。

### (1) リフレッシュセミナー

中堅社員等を対象として、心身をリフレッシュさせ新たな活力を生むことを目的としたセミナー。

期 日 平成24年2月 〈2泊3日〉  
会 場 福島県下  
対 象 18歳以上  
定 員 40名

### (2) 新入社員セミナー

学生から社会人への意識変革を図るとともに、“愛と汗”の人づくりを目的としたセミナー。

期 日 4月 〈2泊3日〉  
会 場 福島県下  
定 員 65名

## 3. 受託セミナー

多種多様な企業の要望に応えるセミナーを企画し、今後の企業を担う人材を育成する。

実施回数 60回

### (1) ブラインド・ウォークセミナー

“思いやりの心” “信じ合う心” “感謝の心” の三つの心を体感し、より温もりのある心豊かな人間関係を保つことを目的としたセミナー。

コース 半日、1日

### (2) パート社員セミナー

スーパーマーケット等のパートタイム社員を対象に、職場の人間関係をより円滑にするための心のあり方や対人関係スキルの向上を目的としたセミナー。

コース 1日、1泊2日

### (3) 新入社員セミナー

学生から社会人への意識変革を図るとともに、“愛と汗”の人づくりをねらいとしたセミナー。

コース 半日、1日、1泊2日、2泊3日

### (4) 一般社員セミナー

一社単独による研修や職場リーダーの育成を目的としたセミナー。

コース 1日、1泊2日

## 4. 青少年・社会教育団体等への講師派遣・斡旋

委嘱講師の充実を図り、青少年団体をはじめ学校、諸団体、企業に積極的に働きかけ、講習会・家庭教育講座や人生講座への講師派遣や、レクリエーション、キャンプ等へのプログラムを企画立案し、指導者派遣の一層の充実を図る。

## IV. 家庭教育活動

### 1. さわやか家庭《共育》セミナー

親や大人が子どもと共に育つ《共育》、さらに家庭・地域・学校が連携して共に青少年の健全育成に取り組む《共育》の理念と活動を普及させ、明るい社会の実現をめざす。会員組織を実施団体として、地元の幼稚園、保育園、小中学校PTAなど諸団体と連携し、会員はもとより広く参加を呼びかける。

開催数 15会場 〈各半日～1日〉  
期 間 通年  
参加者 各30～100名  
派遣者 各講師1～2名

## V. 会員組織活動

### 1. 「幸せの種まき運動」の推進

会員および会員組織と連携を図り、さらに諸団体にも呼びかけて、下記事業を展開し、「幸せの種まき運動」を推進する。

#### (1) 愛汗実践塾

「愛と汗」を基本とした修養団の理念を学び、「幸せの種まき」を実践するための意識を高める機会として、会員組織を実施団体として開催する。

開催数 7会場 〈各1日〉  
参加者 各10～30名程度  
派遣者 各講師2名

#### (2) 第3回チャリティー「バザーと演芸会」ーストリートチルドレン支援ー

開催日 6月18日(土)  
会 場 SYDホール

#### (3) 第8回「平田康子チャリティーJAZZコンサート」ーストリートチルドレン支援ー

開催月 10月14日(金)  
会 場 SYDホール

### 2. 会員組織活動への支援と会員加入促進

会員組織がそれぞれの地域や職域で行う社会貢献活動(幸せの種まき)の充実を図るため、講師派遣などの支援を行うとともに、事業参加者等への会員加入を促進する。

#### (1) 講師等の派遣

派遣数 30回程度(随時)

#### (2) 連合会等主催「皇居勤労奉仕」への支援

連合会等による皇居勤労奉仕の実施を支援し、要請によって職員を派遣する。  
実施数 3回 〈各4泊5日〉

#### (3) 『SYDかわらばん<最新活動情報>』の発行・配布

毎月20日(8月を除く)に各1,200部発行し、各会員組織等に配布する。  
※主な情報はホームページの「webかわらばん」で発信する。

#### (4) 諸団体との連携

社会教育団体振興協議会など諸団体との連携を図る。

## VI. 幸せの種まき献金活動

世界の恵まれない子ども達への支援や災害被災者支援の募金活動等を行う。

### 1. 募金活動

会員組織を通じて会員はじめ広く呼び掛けるとともに、「幸せの種まきキャンペーン《出前講座》」実施校などの協力も得て、積極的に募金活動を展開する。また、献金活動の促進普及をめざした活動報告書などを作成し、配布する。

### 2. 支援活動

フィリピンのスカベンジャーの子ども達への学資支援をはじめとする海外のストリートチルドレンへの支援活動を行う。また、国内外の災害被災者の支援、福祉施設等への支援も必要に応じて行う。

## VII. 出版・広報活動

### 1. 機関誌『向上』『愛』の発行

#### (1) 『向上』

「幸せの種まき運動」を推進する修養団の機関誌にふさわしい連載や随想を関係者や会員、協力者にご執筆いただいて掲載し、合わせてSYDの事業や連合会・支部組織の活動を紹介して、「愛と汗」の精神の普及に努める。

#### (2) 『愛』

子育てや、身近な青少年たちの理解と健全育成に役立ち、「幸せの種まき」の参考となる誌面作りに努める。

7月号、11月号、3月号は、ふれあい会員に向けた「ふれあい特集号」とする。

### 2. 平成24年版「日々の力」の制作・販売

日々の力となる言葉と絵柄で、部屋に飾るにふさわしいデザインの物を制作し、従来の販売先に加え、中小企業及び個人の購買層を積極的に開拓し、販売の拡大を図る。

販売目標 19,000部（制作20,000部）

### 3. 教育図書の普及、教材の販売

『人生成功のバイブル』、『人生のことば365日』などの人生書や教育図書、研修教材等の販売に努める。

## VIII. 施設運営事業

### 1. 伊勢青少年研修センター

#### (1) 施設運営

ア. 講習会を事業の中心として運営する。

イ. 施設利用の団体の利用の際に、愛と汗の精神に基づいた本団教育プログラムを取り入れていただくように働きかける。

ウ. 地域の各団体との連携を密にし、各事業を展開していく。

## (2) 広報活動

- ア. ホームページ等を充実させ、センターの事業及び講習会の情報発信・広報に努める。
- イ. 『向上』『愛』誌を通じて活動の報告など、広報活動に努める。
- ウ. 各講習会、青少年育成事業などの発信に新聞等メディアの協力を仰ぐ。

## 2. 修養団SYDビル・SYDホール

- ・テナントに快適な環境を提供できるようSYDビルの適正管理に努める。
- ・SYDホールは、過去の利用客に案内を送付すると共に、インターネット等での広報にも力を入れより多くの利用を図る。

## 3. ばんだいふれあいぴあ

- ・自然体験活動の拠点として有効活用を努める。
- ・施設の整備を行い、利用者拡大を図る。

## 4. 関西会館

- ・SYD関西地区の拠点となるよう活動支援を図る。
- ・テナントスペースを含め、施設の適正管理に努める。

# IX. 表彰

## 1. 第6回SYDボランティア奨励賞

顕著な活動を顕彰することにより、ボランティア活動に対する意識を高揚し、活動への参加を促して青少年の健全育成に寄与する。募集にあたっては都道府県教育委員会、主要市町村教育委員会、キャンプ開催地や参加者の在学する小・中学校、高校、大学を中心にSYDボランティア奨励賞募集のパンフレットを配布し、応募を呼びかける。

### (1) SYDボランティア奨励賞(文部科学大臣賞)の贈呈

表彰式 平成24年2月11日(予定)  
会場 SYDホール

### (2) SYDボランティア奨励賞・パンフレット配布

体裁 A4版、4頁、4色刷  
部数 20,000部  
配布先 20,000ヵ所

## 2. 平成23年度修養団年次功労者表彰

# X. 関係機関・団体、教育界との協力・連携活動

青少年教育及び社会教育の関係機関、諸団体並びに各地の教育委員会や学校、教師への積極的アプローチを推進し、連携を図り、協力し合って活動を展開する。